

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

10
No.Apr.
2008

ガバナーチュニング
〒342-0041
埼玉県深川市中條1-3-2
吉川園地ビルA2・3階
TEL 048-963-2770
FAX 048-963-2779



吉川市さくら通り

G O V E R N O R

M E S S A G E

仕上げの残り3ヶ月

辰前渡が次第に日本列島を北上する4月です。また、ロータリーの年度ではラスト・クォーターの始まりとなりました。

各クラブの会長・幹事の皆様、年度のスタートに立てた目標への取り組みは如何ですか。R.I.会員費へのエンブリーは徴収ましたか。毎年のことですが、この時期になると次年度に向かってR.I.本部や地区協議会が開催されます。各クラブにおいても次年度理事会や委員会構成、プログラムの立案等の動きが出てきます。そんな中でやり残した事がないか、もう一度見直してください。そして、残りの3ヶ月でもう一度チェックしましょう。幹に、

どのクラブにとっても「永遠のテーマ」である会員増強は時刻を選びません。そして、今年度5月は再度出席率100%推進月間に設定期間いたしました。会員増強と出席率向上は、クラブの高機能化には絶対に必要です。

さらに、ロータリーに関する情報の発信もこれからは重要です。クラブの中堅を囲うみなさん、「ロータリーの友」を熟読しましょう。4月は「懇親・月例」です。「ロータリーの友」は懇親の宝庫です。貴重の動き、国内各地区の活動も参考になります。毎月届く情報源を上手に活用する習慣を身に着けるとともに「熱意あるロータリアン」になるための一つの条件です。

情報とは、確（なき）に有（むべからず）と書きます。いつの世にも人の情けは大切です。常に懇切に話が立ちます。聞かれてはいけませんが、情は必要です。

会長・幹事のみなさん残り3ヶ月を悔いの残らないようになってきてください。

ガバナー 中村 雄治（吉川イブニング）



雑誌月間に因んで

国際ロータリー 第2770地区

ロータリーの友地区委員 稲葉 寿雄 (八潮RC)

今一度、今月の雑誌月間に合わせて、会員のみなさんと共に、今年度中村ガバナーが該地区でCLPを大切に掲げ、その方針にのっとりまして、ロータリーの友題がいかに大切かを考えてみたいと思います。

ロータリーの友委員に任命され、いかにその任務を見たすべきか今日までそれなりに皆さんのご協力のもと活動をしてまいりました。

種題とさらに今後のためにもう一回下記について再確認しましょう。

1. ロータリークラブ内での友をいかに大勢の会員さんに読んで頂くか。

近年、ロータリーの友は大変読みやすく、分かりやすく、複雑になる機関紙であることにお気づきのことだと思います。(例、例会での読み読み、例会でのフォーラム、会社で、出張先で寝床で、休憩中車の中で、会議前の余裕時間など)

2. ロータリーの友の運営方法について。

(会員研修、新会員予定者への配布、公共施設への配布(市役所、図書館、農林省、文化会館、各センターなど、病院、銀行、証券会社、郵便局へ配布、会社職場、友人・知人に、その他)

3. ロータリーの友事務所への投稿のすすめ。

各クラブが地域ニーズにあわせた奉仕活動事例を積極的に友事務所に文書・写真などを投稿して顶く。言いたい・聞きたい、卓趣の原、ロータリーアットワーク、川柳、俳句など各項目にあわせて投稿して頂けます。

4. 地域における他団体との協同奉仕事業活動による広報

地域ニーズにあわせた奉仕活動で、報道機関(新聞・テレビ)・マスコミ地域新聞・市町村庁報などの協力を得る。

5. ロータリーの友の意識は、活動の発表の場、それを参考にする。

自分の考えを他の会員に読んで貰うと意見も頂く。経上会員的役割そして総合的にオバらしきクラブ運営や地区運営にしていくこと。



20010~2011年度 国際ロータリー第2770地区

ガバナー・ノミニー決定

井 橋 吉 一 (越谷ロータリークラブ)

略歴

生年月日 1940年08月29日 61歳

最高学歴 1960年03月 法政大学卒業

社 会 1960年04月 株式会社 游通技術研究所入社

1972年04月 同社退社

1972年06月 株式会社イハシ入社

公職

越谷市公平委員

埼玉県石油氣厚生耳鼻咽喉基金 理事長

ロータリー歴

1968年02月20日 越谷ロータリークラブ入会

2002年～03年度 越谷ロータリークラブ第49代会長

2004年～05年度 地区地場社会奉仕委員長

2005年～06年度 地区新世紀委員・広報委員長

2006年～07年度 地区職業奉仕部門委員長

2007年～08年度 地区第3グループガバナー補佐

現歴

株式会社イハシ 代表取締役 社長

株式会社イハシエヌルギー 代表取締役 会長

株式会社ティ・アイ・シー 代表取締役 会長

株式会社イハシプロパン 代表取締役 会長

株式会社ファイ・エム 代表取締役 会長

株式会社イハシ産業 代表取締役 会長

アイ・ケア株式会社 代表取締役 社長

東京ガス株式会社 取締役

社会福祉法人大吉会 理事長

現在に至る

「ロータリー財團」(米山記念園学会)

ロータリー財团 M-5 団

米山功勞者 M-6 団

インターナショナルミーティング (IM) 報告

第8グループ合同インターナショナルミーティング

第8グループガバナー補佐 井 橋 吉一
IM実行委員長 瀬 賀 定吉

今回、インターナショナルミーティングの実行委員長を任せつかってから、どのように企画し会員の皆様に喜んでいただけるかを考えました。そこでここ数年、地区やクラブで言われているロータリー活動を広く知っていただく事が重要であろうと思い、IMのテーマを「ロータリーを知ろう。そして知ってもらおう」とさせていただきました。当日は、会場を越谷市内にあります文教大学さんのキャンパスにさせていただきました。

1部では、当地区の中村清治ガバナーにロータリアンと東山高校学生のために寄りある講演をしていただきました。

2部では「公開例会」とし、一般市民の方や文教大学の学生も空えてロータリーを少しでも知っていただく機会にしました。

3部に入り、ヤンキー先生で知られる「前原弘全氏」に『夢を続ける街づくり、人づくり』と題し、90分間の講演をいただきましたが、退席する方が一人もなくすばらしい講演会となりました。多くの方々にご協力をいただきまして無事終えることができました。

本当にありがとうございました。



子育て四訓

青 少 幼 乳児は肌を離すな
年 は 兒 児は手を離すな
は 心 を 離すな
心 を 離すな



インターナショナルミーティング (IM) 報告

第11・12グループ合同インターナショナルミーティング

第11グループガバナー補佐　萬木　正史

第12グループガバナー補佐　池上　良久

2月5日、川口リリアにおいて「ロータリー家族と共に、これから環境と教育を考えよう!」のテーマのもと、第11・12グループ合同によるIMが開催された。当日は、中村ガバナー御夫妻はじめ大勢の来賓及びロータリー一家族、約200人が参加し、選ばれた議題人の趣意であるロータリーの本業であるべき品格と奉仕さを尊重しつつ、教養と社会的資格感を高める高尚な精神を持って三部構成により行われた。

第1部では京都を代表する財界人・文化人の津田俊氏(アストガバナー(第2660地区・京都RC))を開會に迎えた。氏は「これからロータリーを考えよう」と題し、京都の文化と歴史と未来に触れつつ、ロータリー活動はどうあるべきかを説かれ、更にはポール・ハリスの歴史を語りながらロータリー活動の原点を常に顧みる重要性を胸に熱誠高く主張された。幕間では、女性のソプラノ音域を歌う世界でも著少年男性オペラ歌手川辺志氏の天使の歌声に酔いしれ、グループフォーラムを経て、第2部議題の埼玉県教育委員長・明星大学教授・高橋史朗氏の講演「親心を育む『親学』を埼玉から全国へ」に移った。氏は実践されている「親学」を紹介しつつ教育の原点は家庭と地域であるとし、これらの再生と強化を力強く主張された。

第3部の立食パーティーでは、今年度全日本マチュアシンソンコンクール全国大会優勝者の倉井克幸氏(第2550地区元青少年交換留学学生)の強奏によって優美で華やかに包まれた雰囲気の中、ロータリアンがお互いの活動動向を物え友間を育み、更なる発展を目指し、手に手つなぎ一つの輪になってロータリーの輪を替う、実に香り高いIMであった。

大勢のロータリアン、またロータリー一家族のご協力により盛会の内に圓事務了することが出来、要評として中村ガバナーより、大変光沢した内容の有意義なIMであったと賛辞を頂いた。



開会式 聞き手の方にお土産丸



第11・12グループ会長紹介



開会の辞 小笠原尚吉副会長



開会 第11グループガバナー補佐



開会挨拶 中村 善治ガバナー



開会挨拶 第12グループガバナー補佐



開会挨拶 桐原泰司会長



開会挨拶 桐原泰司会長



第1回アトラクション



開会挨拶 高橋 史朗氏



開会挨拶 第120回上会ガバナー補佐



開会挨拶 他会



懇親会 中西会



開会挨拶 第1回アトラクション



手に手つないで



インターナショナルミーティング（IM）報告

第5グループインターナショナルミーティング

第5グループガバナー補佐 山崎 秀夫

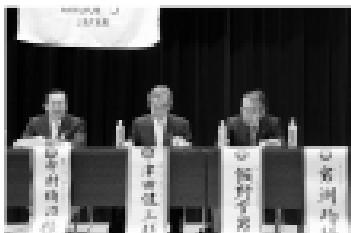
春はもう近くまで来ているが、まだ寒い気温が続く2008年2月18日（木）に上尾市文化センターで、第5グループ（上尾、深谷、桶川、上尾西、北本、上尾東、上尾北、越東赤堀、桶川イブニングの9クラブ）の1Mが登録者286名で開催されました。当日は中村ガバナー、飯野直哉ガバナー、津田バストガバナー、猪瀬ガバナーエレクト、大藤ガバナーノミニー、バスト分認代理、バストガバナー補佐、地区役員、9クラブの会長、幹事、会員の方々と家族の皆様にご参加頂き盛大に開催出来ました。

第一部式典に続いて、第二部では上尾西ロータリークラブのご夫人たち21名による「北海よさこい踊り」が披露されました。IMのテーマ「ロータリー一家族で奉仕の和を広げよう」の通り、ロータリー一家族はクラブ活性化の大きな原動力になると思いました。

続いて鶴田弘司先生のご講演「心に届く預配りのコツ」が1時間に渡って行われました。鶴田先生の同じ題名の著書を記念に参加会員に賜物で差し上げました。

第三部懇親会は、中村ガバナーを囲んで和やかに行われ、最後は皆で「手に手つないで」を輪になって歌い、IMは圓満終了致しました。

1年8ヶ月かけて準備したIMがあっという間に過ぎた感じがします。ロータリーの心が次の時代に受け継がれていく感動の一日でした。



インターナショナルミーティング（IM）報告

第7グループインターナショナルミーティング

第7グループガバナー補佐 飯島 雪次郎

テーマ：CLPは現立っていますか？（----クラブ活性化への道）



CLPが採用され、各クラブにおいても今年度から実施され、2770 地区内クラブはCLP元年という位置づけとなりました。始まったばかりで、それは試行錯誤の真っ只中に在り、クラブの歴史や事情などからその対応は様々です。

この例は式典と懇親会を複数行ない、あくまでも本会議を重視した時間配分とし、パネルディスカッション形式を採用しました。

初めに各クラブの会長・幹事さんより活性化されたロータリークラブとはどんな状態を指すと考えるか、それを実現する為にどんな事をしているのかについて意見を出していました。

部門内多數の委員会を配置して、全員参加型で参加意識を持たせ活性化を図る。2つの運営委員会に集約し、その下に担当を配置した少人数クラブ。

何よりも行動に移すことが先決で、良い物は残し、良くないことは改善する。これに取ると明確な意見を持つクラブ。

中長期計画委員会を中心に目標作り、方策を考え、行動する。活性化は全員参加が大切で、これらが若い人の入会にも対応できるクラブ造りである。などなど。

会場の一般会員からも活発に多数のご意見を頂戴ましたが、全てが前向きで、素晴らしいヨーダリアンの風まりでした。



ロータリー財團 特別功労賞



パストガバナー
久世 隆雅
(大宮中央)

ロータリー財團 功労表彰状



パストガバナー
北 清治
(浦和東)



「米山記念奨学生終了式」報告

東山記念奨学部門委員長 楽谷 良雄（高川イブニング）

3月9日（日）ラフレさいたまに於いて 終了式が開催されました。

奨学生33名の内 3名が奨学期間を終了致しました。その3名の祝福に120名はどの地区役員・顧説奨学生・カウンセラー及び各クラブの会員・東山委員長と地区委員そして指導教員の皆様にご参集いただき心より感謝申し上げます。

今回の終了式には東山記念奨学会より庄報・企画担当、齊津美曲記録が庄報用ビデオ作製の為撮影に見えられました。それぞれの性別クラブ・カウンセラー・ロータリアンの方にお話を伺つて頂いたようです。東山部門の準備実施より終了式最後まで撮影をしていただき、素晴らしいビデオが出来上ることが出来ます。

第1種では、中村ガバナーの祝福の言葉と激励の挨拶があり、続いて私の東山記念奨学部門報告についてと、この1年東山奨学生との想い出を語らせていただきました。

そして、終了証と記念品を1人1人に中村ガバナーが手渡しをし、笑顔と握手の連続でした。その後、日本工業大学指導教員の星野恒之先生よりお祝いの言葉やロータリークラブへの感謝の挨拶があり、引き続き終了者を代表して、張秀春（草加南RC）さんの謝辞があり、大宮シティRCの北西澄昭氏よりカウンセラー代表のご挨拶を聞き、第1種終了となりました。

第2種にて 岩野直前ガバナー・山本直前東山記念奨学部門委員長・渡辺学友委員長と、それぞれの立場で祝福の挨拶があり、岩瀬ガバナーエレクトの乾杯、そして奨学生の皆さんで企画したカウンセラーと共に日本の歌、韓国の歌を披露をして頂き、奨学期間の想い出を語り合っていたようです。会場全員大いに盛り上がり拍手と歓声のなか 大変楽しく過ごしました。

途中に 奨学生のメッセージを直白なワイシャツに書いてもらう事になり、中村ガバナー、東山記念奨学会理事吉田PG、東山記念奨学部門担当顧問委員田中PG、岩瀬ガバナーエレクトと私の5人が、色々書かなかそれの想いを込めて、大変楽しくメッセージを伝えてもらいました。乾杯にとって重いのがけない記念品が出来ました。誠に有難うございました。
後半に 吉田東山記念奨学会理事のご挨拶と理事のご厚意で終了者に感謝を込めて 1人1人に記念品を手渡していました。最後にマーチン学友会会長に学友会の箇面と進みの報告を聞き、終了時間19時でした。

国際色豊かな友誼をかりながら、皆むに「手に手つないで」の歌声で終了いたしました。

ロータリーの子供、東山記念奨学生終了者協様の今後の活躍を希望し感謝の報告と致します。





ロータリー財團



東山記念医学会



2007~2008年度 3月の会員登録状況報告書



卷之三十一

2008年ロサンゼルス国際大会のご案内



2008年国際ロータリー【R】国際大会は、アメリカ・ロサンゼルスで、2008年6月16~18日3日間開催されます。ディズニーランド、トロリー・スタジアム、ハリウッド、テンカモニカードー【見所いっぱい】のロサンゼルスで、ロータリーの歴史の歴史を認め、また、ロータリーの力をしましょう。